

「均等推進企業部門」「ファミリー・フレンドリー企業部門」
東京労働局長優良賞ダブル受賞

第一生命保険株式会社 に

インタビューに行ってきました！

第一生命は、20年以上も前から、旧一般職の役職登用や様々な職務展開を行っている会社。そして、平成22年度は、「均等推進企業部門」と「ファミリーフレンドリー企業部門」の労働局長優良賞ダブル受賞企業です。

インタビューで感じたキーワードは「立体的」「底力」の2つ。1つ1つの取組も先進的ですが、好循環しあう全体像が、さすがダブル受賞企業。以下、全体像をご紹介します。

平成21年度には総合職・一般職の職務区分を「基幹職掌」として一本化、多様な人材が活躍できる制度を整備。併せて、女性向けの「階層別選抜研修」や「社内トレーニー制度」などの能力開発体系を構築。また、働きやすい環境作りのためには、ファミリーフレンドリー制度を充実。さらに、社内の意識・風土改革に向けては、経営トップ層からくり返しメッセージを発信しつつ、全所属に女性のキャリアアップを推進する担当者を配置する等、トップダウンとボトムアップを組み合わせた取組を推進しています。

既に、新たなプロジェクトも全国各地で展開されているとか。「女性の活躍が第一生命の成長に繋がる」という強い信念が感じられ、今後の取組にも期待大です。



「女性管理職塾」では女性活躍推進の
具体策を経営に提言



育児休業中の職員と復職している職員
による「ママランチ会」を開催

■ トップからのメッセージ（代表取締役社長 渡邊 光一郎氏）

「均等・両立推進企業表彰」の均等推進企業、ファミリー・フレンドリー企業の両部門において、東京労働局長優良賞をいただき大変光栄に存じます。

弊社は、第一生命グループビジョン「いちばん、人を考える会社になる。」を掲げて、企業の社会的責任を果たしつつ持続的な企業価値の創造を目指しております。そのためには“人財”こそが競争力の原点と考え、多様な職員が個性と能力を発揮できるように取り組んでまいりました。

今回の受賞を励みにして、さらなるダイバーシティを推進してまいります。

■ ご担当者の声

弊社では、職員一人ひとりの価値観が尊重され、職務や働き方を選択できることは、働きがい、生きがいの向上に繋がるものと考え、ダイバーシティ推進の柱の一つとして「女性の活躍推進」に取り組んでおります。

女性の役職登用や職務拡大への取組、また、仕事と家庭の両立支援策の充実によって、職員満足度（ES）の向上や、退職者数減少等の成果に繋がっております。女性の活躍推進に向けては、職員の理解が不可欠との考えから、昨年度は特に職員の意識改革に取り組みました。今回の受賞を原動力として、さらに働きやすい会社を目指してまいります。

■ 女性管理職塾に参加した

女性労働者Aさんの声

女性管理職塾に参加し、「女性活躍推進」について具体策を経営に提言しました。経営の視点から何度も議論を重ねたことで、俯瞰的な視野の醸成や課題解決力が強化されたと感じています。また、ロールモデルとして、部下・後輩の育成に対する役割を改めて強く認識しました。さらに、この活動を通して、社内であってもあまり接点のない全国の女性管理職同士によるネットワークができたことは、今の私に大きな力を与えてくれています。

■ 育児休業を取得した

男性労働者Bさんの声

子どもの1か月健診時に育児休業を取得しました。妻が専業主婦ということもあり、当初は育児休業の取得は考えていませんでしたが、「パパトレーニング育児休業」という社内イントラネットの掲示板で、短期間でも育児休業が取得できることを知り早速利用しました。妻は出産後初めての健診で不安があったようで、一緒に行けることを喜んでくれました。会社の両立支援制度の充実は、新しい家族を持った自分にとってとても有難く、今後も利用していきたいと思います。